

アナリスト レポート

一部で持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状態にある

しがぎん
経済文化センター
(産業・市場調査部)

県内景気 天気図

現在の景気

生産活動

個人消費

民間設備投資

住宅投資

公共投資

雇用情勢

3か月後の景気

凡例

☀️ 晴れ ☁️ 晴れ一部曇り
☁️ 曇り ☁️ 曇り一部雨
🌧️ 雨

前月比

📈 上昇・好転 📉 横ばい
📉 下降・悪化

県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数で見ると、前月に比べ電子部品・デバイスやその他の業種では上昇したものの、生産用機械や化学などで大幅に低下したため、全体では3か月ぶりに大幅に低下した。

需要面では、全店ベースの百貨店・スーパー販売額はウエイトの高い食料品をはじめ家庭用品や身の回り品、衣料品などが増加したため、全体では7か月連続で前年を上回っている。また、大型専門店などの他の小売業態の販売額は、コンビニエンスストアが6か月連続で減少しているものの、ドラッグストアは10か月連続、ホームセンターは7か月連続かつともに大幅増加、家電大型専門店も5か月連続で増加しているため、小売業6業態計の売上高は7か月連続で増加。これは、新型コロナウイルス対策のための衛生用品をはじめ、「新しい生活様式」に関連した家電機器やインテリア、ガーデニング用品などが好調に推移したためとみられる。一方、乗用車の新車登録台数と軽乗用車の販売台数は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う家計収入の減少や将来不安などによる買い控えが続き、ともに12か月連続かつ大幅な減少となっている。また、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は6か月連続かつ大幅に減少し、新設住宅着工戸数も2か月ぶりに減少した。しかし、公共工事の請負金額は3か月連続で大幅に増加している。

このような中、雇用情勢をみると、新規求人倍率は3か月ぶりに大幅低下し、有効求人倍率も5か月連続で1倍を下回っている。また、常用雇用指数は微

京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、新型肺炎の影響により、依然として厳しい状態にあるが、足もとでは、持ち直しの動きがみられる。

需要面をみると、個人消費は、経済活動の再開に伴い財の前年比は減少幅が縮小しているが、飲食サービスを中心に、低調な動きとなっている。観光は、大幅に悪化した状態が続いているものの、足もとでは持ち直しの兆しがみられる。設備投資は、大型投資が一服しているほか、非製造業を中心に収益環境の悪化を受けた経費節減の動きがみられることから、減少している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、公共施設の建築工事や高速道路関連工事などを中心に増加し

増ながら2か月連続で上昇したが、製造業の所定外労働時間指数は19か月連続かつ大幅に低下している。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は持ち直しの動きがみられるものの伸び悩んでいる。需要面では、乗用車の登録・販売台数は引き続き前年を大幅に下回り、不振が続いているが、小売業の売上高は全体に堅調に推移しているため、個人消費としてみると持ち直しの動きが続いているとみられる。しかし、投資需要では公共投資は引き続き堅調に推移しているものの、民間設備投資と住宅投資は伸び悩んでいる。したがって県内景気の現状は、新型コロナウイルス感染症拡大の悪影響が続く中、一部で持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状態にある。

今後の動向 県内製造業の生産活動は、中国や米国の景気回復に伴う外需の回復に加え、内需の持ち直しにより、全体に堅調な動きが広がり、徐々に回復に向かうと思われる。また、個人消費については「新しい生活様式」関連の商品やサービスの需要が根強いとみられ、それに対応した業種、業態の業況の回復が全体をけん引し、緩やかな回復基調に向かうと思われる。一方、民間設備投資や住宅投資などの投資需要は増加基調に転じるとみられるが、弱含みの低調な動きにとどまると考えられる。したがって今後の県内景気については、雇用情勢の回復の遅れや新型コロナウイルス再拡大の懸念などから、持ち直し傾向が続く中で弱含みの推移にとどまると考えられる。

ている。こうしたもと、生産は、持ち直しの動きがみられる。また、雇用・所得環境をみると、新型肺炎の影響により、労働需給・雇用者所得ともに一段と弱い動きとなっている。

今後については、当面、新型肺炎の影響から悪化した状態が続くとみられるが、経済活動が再開していくもとの、徐々に改善していくとみられる。こうした中、新型肺炎の帰趨、政府等が打ち出している各種経済対策の効果、米中間の貿易摩擦を含む海外経済の動向、それらが管内経済に与える影響等に注視していく必要がある。

【日本銀行京都支店:「管内金融経済概況」(2020年10月16日発表)より】

「小売業6業態計売上高」は

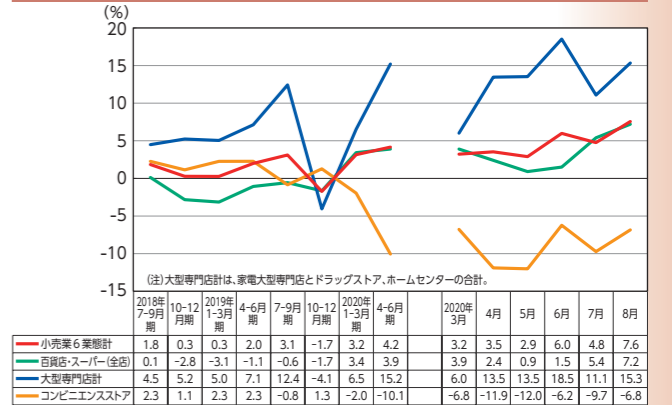
7か月連続で増加

- ・「可処分所得(大津市・勤労者世帯)」(2020年8月)は11か月連続かつ大幅に増加した(前年同月比+28.7%)。これは、前月に続き特別定額給付金(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策関連)によるものとみられる。「家計消費支出(同)」は3か月ぶりに増加した(同+3.4%)。
- ・「百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象102店舗)」(8月)は、24,792百万円、前年同月比+7.2%となり7か月連続で増加している。品目別では、ウエイトの高い「食料品」は9か月連続で増加し(同+6.2%)、「家庭用品」は3か月連続で大幅増加(同+26.9%)、「身の回り品」も3か月連続かつ大幅増加(同+43.9%)、「衣料品」は11か月ぶりに増加に転じた(同+6.1%)。一方、「家電機器」は3か月ぶりに減少した(同-8.1%)。また、「既存店ベース(=店舗調整後)」では4か月連続で増加(同+8.4%)。品目別では「家電機器」(同-2.7%)を除き他の品目で増加し、なかでも「身の回り品」(同+47.3%)や「家庭用品」(同+31.9%)が大幅に増加し、「衣料品」は11か月ぶりに増加した(同+8.2%)。これは、当月閉店した大津市にある百貨店の閉店セールの影響と考えられる。
- ・大型専門店では、ウエイトの高い「ドラッグストア」(全店ベース=店舗調整前、8月、209店舗)は7,414百万円、同+15.6%で10か月連続かつ大幅に増加、「ホームセンター」(同64店舗)は3,992百万円、同+23.6%で7か月連続かつ大幅に増加、「家電大型専門店」(同42店舗)も4,723百万円、同+8.7%で5か月連続の増加。一方、「コンビニエンスストア」(同559店舗)は9,997百万円、同-6.8%となり6か月連続で減少している。
- ・これらの結果、「小売業6業態計売上高」(8月)は、50,918百万円、

同+7.6%となり7か月連続で増加している。これは、新型コロナウイルス対策のための衛生用品をはじめ、「新しい生活様式」に関連したエアコンや空気清浄機、冷蔵庫などの家電機器、家庭用調理器具やテレワーク用のインテリア、ガーデニング用品などが引き続き好調に推移したためとみられる。

・「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(9月)は、「普通乗用車(3ナンバー車)」が12か月連続かつ大幅の減少となっているのに加え(1,830台、同-18.9%)、「小型乗用車(5ナンバー)」も6か月連続で大幅に減少したため(1,245台、同-15.4%)、2車種合計では12か月連続かつ大幅の減少となっている(3,075台、同-17.5%)。「軽乗用車」も12か月連続かつ大幅に減少(2,130台、同-22.4%)。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う家計収入の減少や将来不安などによる買い控えが続いているものと考えられる。

百貨店・スーパー、大型専門店、コンビニエンスストアの小売業態別販売額(前年同期(月)比)

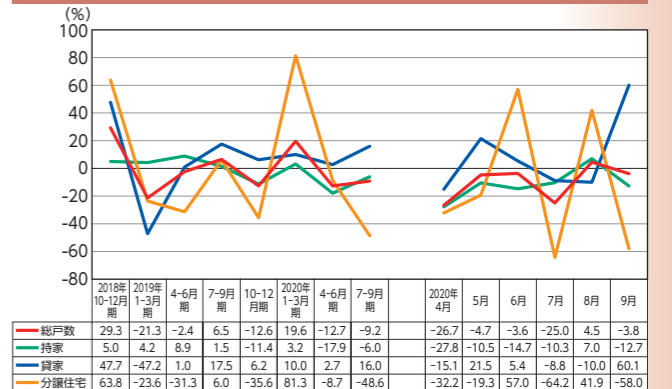


「新設住宅着工戸数」は

2か月ぶりに減少

- ・「新設住宅着工戸数」(9月)は804戸、前年同月比-3.8%となり、2か月ぶりに減少した。
- ・利用関係別では、「貸家」は381戸、同+60.1%で、3か月ぶりに大幅増加したが(大津市213戸など)、「持家」は331戸、同-12.7%となり2か月ぶりに大幅減少(大津市69戸など)。「分譲住宅」は92戸、同-58.0%で、2か月ぶりに大幅減少(大津市43戸など)、うち「分譲マンション」は3か月連続で申請がなく、「一戸建て」は2か月連続で増加(前年差+13戸)。「給与住宅」はなし。
- ・新設住宅着工の「床面積」(9月)は66,617㎡、前年同月比-15.2%で、2か月ぶりに大幅減少。

新設住宅着工戸数の伸び率の推移(利用関係別)(前年同期(月)比)



「有効求人倍率」は

5か月連続で1倍を下回る

- ・「新規求人数(パートを含む)」(9月)は6,815人、前年同月比-22.9%で、9か月連続かつ大幅に減少したが、「新規求職者数(同)」は5,048人、同+1.4%で、4か月連続で増加。
- ・「新規求人倍率(パートを含む、季節調整値)」は1.42倍で前月に比べ3か月ぶりに大幅低下(前月差-0.20ポイント)、「有効求人倍率(同)」は前月と同じ0.82倍で、5か月連続で1倍を下回っている。また、「就業地別」の有効求人倍率も前月と同じ0.98倍で、3か月連続で1倍を下回っている。
- ・産業別の「新規求人数」は、「建設業」:509人、前年同月比-5.4%で、2か月ぶりに減少。「製造業」:976人、同-31.1%で、20か月連続かつ大幅に減少。「医療、福祉」:2,038人、同+20.3%で、6か月ぶりに大幅増加。「サービス業」:732人、同-41.6%で、12か月連続で大幅

減少。「公務、その他」:315人、同-5.7%で、4か月ぶりに減少。・「雇用保険受給者実人員数」は6,991人、同+47.5%で、5か月連続かつ大幅に増加。

求人倍率の推移(パートを含む、季節調整値)

